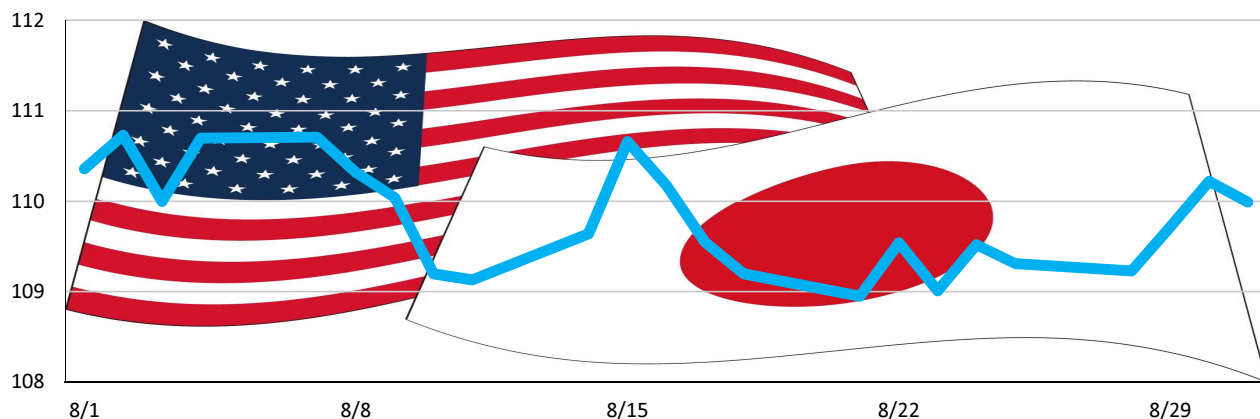


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 8月のドル円相場は、111円～108円半ばで推移。米雇用統計の結果が市場予想より良かったものの、ドル高基調に転換するまではいたらなかった。利上げ期待感が後退したり、北朝鮮によるミサイル発射実験やそのことに対するトランプ大統領の過激発言に伴う有事リスクもあり、ドル売りの流れとなったが、金委員長が米国の動向を見守るとの発言が伝わると一転ドル買戻しとなった。さらに良好な米経済指標発表もあり、有事リスク前の水準まで持ち直したものの、バルセロナでおきたテロ事件や米国政権の不安定さが改めて浮き彫りとなってきたことから、再度ドル売りの流れとなった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: 良好な経済指標発表からドル買いが見受けられたものの、北朝鮮によるミサイル発射実験が行われたことが、有事リスクによるドル売りを誘発するなど突発的な情報に対応せざるを得ない状況が続いている。さらに9月3日には北朝鮮が核実験を行ったとの情報が流れたことにより、週明け月曜日の早朝に各通貨は大きく値が飛んで始まるなど、有事リスクが週末に起こったことによる週明けリスクが大きくなってきた。このことからポジションは長く持ち続けられない方が良いのかもしれない。いずれにせよリスクは大きく取れないことから、早め早めの判断力が問われてくることになるだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
9 / 21 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
9 / 21 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
9 / 26 (火)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
9 / 28 (木)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
9 / 29 (金)	17 : 30	GB	英GDP確定値	☆☆☆☆
10 / 4 (水)	21 : 15	US	ADP雇用統計	☆☆☆☆
10 / 6 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。